

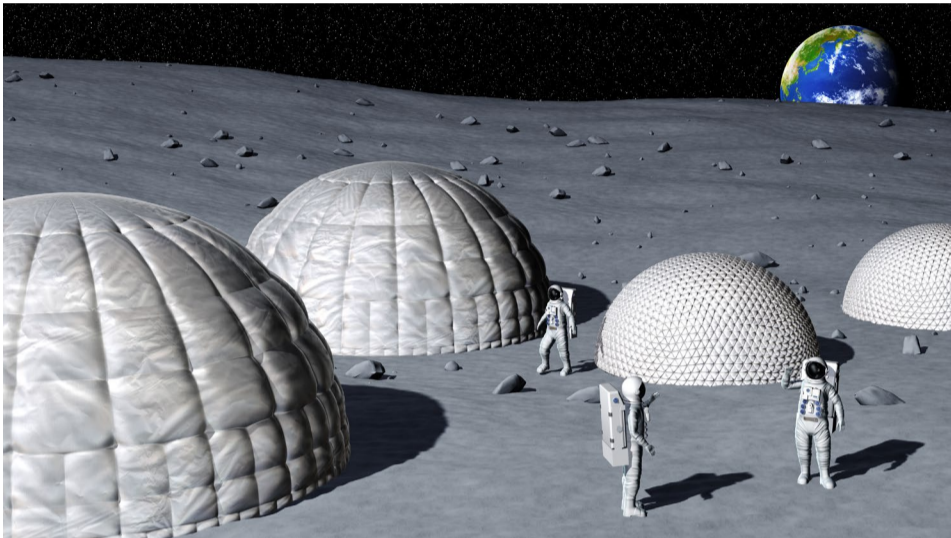
月の空間構築技術

2030年代以降の活用を目指す 安藤ハザマ宇宙構想

ふたつの宇宙構想

建設事業において培ってきた当社の強みである地下空間構築やトンネル建設技術を応用し、月面および月地下に安全・安心な空間を構築することを目指します。

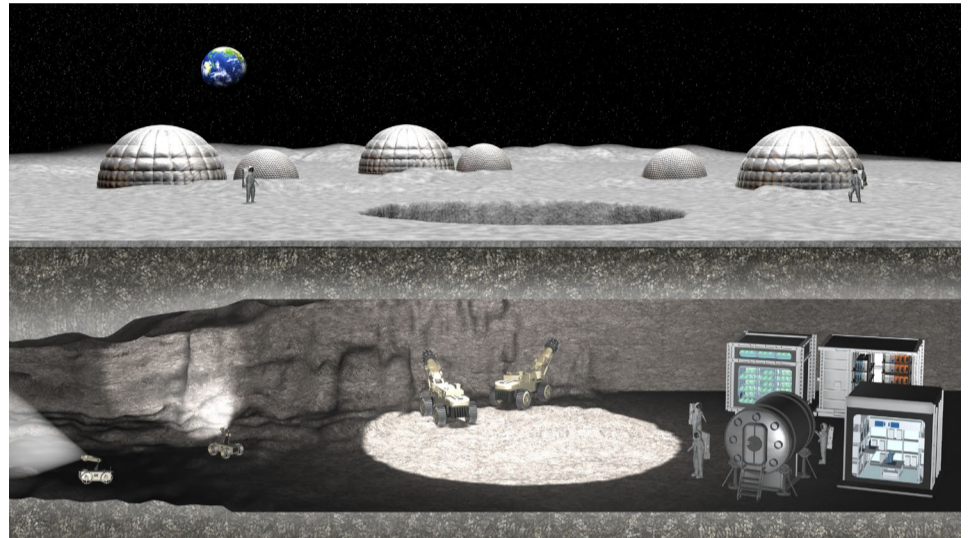
Concept 1 宇宙シェルター



月面に降り注ぐ強烈な放射線から人や機材を保護する空間を構築する宇宙シェルターの技術開発を進めています。高額な輸送コストを低減するため、地球からの建材を最小限に抑え、現地の素材(レゴリス：月の砂)を最大限活用します。

【技術開発要素】 遮蔽材構成・厚/素材・部材選定/形状/施工技術/輸送等

Concept 2 ルナ・ジオフロント®



月に存在すると予想されている天然の溶岩チューブに安心・安全な空間を構築し、「人が働く空間」「住む空間」「重要設備を保護する空間」として提供するための技術開発を進めています。

【技術開発要素】 未知環境の探査/構造安定性解析/岩盤掘削/施工遠隔化/自動化/維持管理等

地上への技術還元

宇宙という極限環境を想定して開発した技術を地上に転用することで、地上での建設技術と相互に発展させていくことを目指しています。

【転用可能性の例】 豪雪地・寒冷地での無人化施工技術/災害現場での遠隔操作とそれによる二次災害防止/トンネル・地下空間の安全性評価技術等

ロードマップ



お問い合わせ

技術研究所 フロンティア研究部 ☎ 029-858-8811

